

令和六年度とうばらーま大会作詞の部 受賞作品

最優秀賞 ひろた りつこ
廣田 律子

つきい みなか

月ぬ庭んが わぬなーし影ば見らり

かぎい み

ぴやん がは

飛び上り走るけんや 形んのーんねーぬ

かたつ

つきい

ンゾーシヌ 月んかいどう行こうりたゆ

歌意（月あかりの庭に あなたの姿のような影が見えたようで

飛び上がって走って行くと 姿形はなにもなかった

あの月に行ったのでしょいかね！）

優秀賞 みやぎ さちこ
宮城 幸子

ぴらかじふ しちう

寒風吹く季節ぬ 巡り来夜や

みぐ くー ゆる

つさい

白髪かびうらばん 母親ぬーどう俵ばりる

ぶねー

しぬ

ぶねー

はだなつ

ンゾーシヌ 母親ぬ肌懷かはーそーよ

歌意（北風が吹く季節になると、頭に白髪を頂いた

年になつても母のことが思われる

母親の肌の温もりが懐かしい）

令和六年度とうばらーま大会作詞の部 受賞作品

優秀賞 吉村 安史
よしむら やすし

仲道アコウかい 抱かれ夫婦なり
なかどー だ みゆとう

今やまーぞん いじる とうばらーま
なま

ンゾーシヌ 運命かい感謝
さだみ にいふあいゆー

歌意（仲道アコウ木に見守られ夫婦になり
今はいっしょに歌っている とうばらーま
心から運命に感謝）

佳作 田本 佳信
たもと よしのぶ

老いの坂道 思いぬまま 登り来だ
う さかでい うむ ぬぶ きいー

後や下り坂 よーりい よーりい 下りらるばー
あとう う さかま

ンゾーシヌ 下り坂 やーらーな

歌意（老いの坂道を心に思うとおりに登って来た
後は下り坂 ゆっくり ゆっくり下れたら良いのだが
下り坂をのんびり）

令和六年度とうばらーま大会作詞の部特別賞（石垣第二中学校）

※ 二年 宮良 茉花（みやら まはな）

歌詞

うやふあふいがらなまげ つだーやーれーる
ずんぶんさりどう ばがだーや くらひうる
んぞーしぬ ずんぶんさーりどう

歌意（親の代から言い伝えられてきた教えを大切に

私たちは暮らしている。教えはだいじだよ）

※ 三年 慶田盛 信翔（けだもり のぶと）

歌詞

くくる うや くとぅ ば
心や父母ぬ あんこーる事ん 分がりうそんが
にふあいゆでん 伝^{つた}やぶさぬ
ンゾーシヌ なまなりうるよ

歌意（心の中では親のいっていることを分かっているけど、

ありがとうと（感謝の気持ち）伝えきれずにいまになっている）

※ 三年 中上 基志（なががみ もとし）

歌詞

雨^{あみ}やかんマイヘール アウダぬ^{くうい}声

ゆーび^{ふおー}から降^{あみ}ゝだる雨ぬ 居^うるぬならぬ

ンゾーシーヌ やーじゅー 家中すぶつたらはーぬ

歌意（雨よりも大きな蛙の声

夕べから降っている雨のせいで、家にいなければならぬ
家中湿気でいごこちが悪い）

※ 三年 仲野 太惺（なかの たいせい）

※ 歌詞

八重山^{八重山の宝}の ヤイマヌ タカラヤ シジダカ ウムトウ^{崇高なおもと山}

ウフヤマヌ^{大きな山} ミブギヤ シウマヌ ユガフ^{おかげで 島は 豊かなる}

ンゾーシヌ^{八重山の人の心} ヤイマヌ ピトウヌ ククル

歌意（八重山の宝 崇高なおもと山

おおきな山のおかげで 島はゆたかである
八重山の人々の心である）

令和六年度とうばらーま大会作詞の部特別賞（石垣中学校）

※ 三年 大底 美月（おおそこ みづき）

歌詞

かいしやーる とうもーる しつつあぬはたぎ
ばぬが まりじいま ばしいきらるぬよー
ンゾーシヌ ばしいきていならん

歌意（美しい海 サトウキビの畑

私の生まれ島 忘れられない 忘れはならない）

※ 三年 木伏 大地（きぶせ だいち）

歌詞

ンボンヌバスン ニブルバスン
ごはんの時も ねている時も
イツインイツイン ダックワリーキーダソー
いつもいつも くつついてきた

アタラサールマ ヤヨー

ンゾーシヌ 愛しいねこよ

歌意（ごはんの時も 寝ている時も

いつも、いつもくつついてきた 愛しい猫よ）